役務等支出負担行為要求書

総務部長 決裁印		調達要求番号	艦修 4

科目		
	項	艦船整備費
	目	艦船修理費
	細分	艦船修理費（艦船整備・雑役）

要求欄　平成　年　月　日

会計課 課長	会計課 室長	会計課 補佐	会計課 係長	会計課 係	関係課（室）	要求元 課長等	要求元 補佐	要求元 供用官	要求元 係

行為名称	算出内訳	時期、場所、人員、その他
機動船１３号定期検査・修理	１隻	仕様書のとおり

総額	

備考	課室名	訓練課舟艇係	要求者氏名	水野　広一	電話番号	内線 2600

調達欄

室長	補佐	係長	係

契約方式	一般 指名 随意	根拠法令	会計法第29の３第　項 予決令第　条第　項第　号

選定業者		契約条件	

予定価格	総額	算出の基礎
	円	

調達説明日時	平成　年　月　日　時　分
入札日時	平成　年　月　日　時　分

機動船　１３号 定期検査・修理仕様書		艦　修　４
品　　　名	数　量	内　　訳
機動船１３号定期検査・修理	１　隻	船体部・機関部・電気部

1　総則
適用範囲
本仕様書は、防衛大学校で所有する機動船１３号の定期検査・修理について適用する。

2　一般
（１）回航等
本船の定期検査・修理の回航は官側が実施する。
ただし、契約相手方の造船所又は修理地等への離着岸の際、官側は契約相手方の支援を受けるものとする。

（２）保安等
ア　安全管理は契約相手方の責任において措置するものとし、官側に故意又は重大な過失がない限り、発生した事故等について官側は一切その責任を負わないものとする。
イ　契約相手方は、作業実施中、機動船及び備品等に損傷を与えないように処置するとともに、必要に応じて[立入禁止]、[点検実施中]等の表示を行い、事故防止に万全を期するものとする。
なお、万一、機動船及び備品等に損傷を与えた場合は、現場を保全した上で、速やかに契約担当官等に届け出て指示を受けるものとし、無断で修復等を行ってはならない。
ウ　本役務履行上、必要となる器材及び消耗品は契約相手方の負担とする。また、本役務により生じた交換部品等の廃材は契約担当官等の確認を得た後、発生材調書を添えて官側の指定する場所に集積もしくは契約相手方の処分するものとする。
エ　契約相手方は、本役務全般において守秘義務を負うものとし、本役務で知り得た官有施設及び装備品に関する一切の情報を第三者に漏洩してはならない。

（３）官給材料
ア　官給材料は「官給材料明細表」のとおりとする。
イ　官給材料の引渡し場所は官側が特に指示するもののほか、防衛大学校走水海上訓練場とする。

3　修理等

修理内容については別紙「機動船１３号定期検査・修理要領書」のとおりとする。

（１）引用文書

本仕様書に引用する次の文書は、本仕様書に規定する範囲において、本仕様書の一部をなすものであり、見積書又は入札書の提出時における最新版とする。

ア　防衛省規格　（規定のないものは日本工業規格）

イ　船舶検査規則及び同試験実施細則

ウ　自衛艦工作基準

エ　機動船１３号取扱説明書

（２）材料

ア　本修理に使用する材料は、防衛省規格又は日本工業規格によるものとし、やむをえず両規格以外の材料を使用する場合は、官側の承認を受けるものとする。

イ　塗料は防衛省規格又は官側の指示によるものを使用する。

ウ　修理地への回航及び船舶検査規則に基づく検査に必要な燃料、潤滑油等は、官側の負担とする。

4　検査

（１）船舶検査規則（防衛省訓令第５３号）及び本仕様書に基づき実施する。

（２）検査諸試験は、契約後速やかに検査行程表を提出し、本仕様書又は３－（１）項の各引用文書により実施するものとする。各検査は検査の3日前までに契約担当官等に申請するものとし、別紙「機動船13号定期検査・修理要領書」に官側立会いが定められてあるものは試験要領案を併せて提出する。

5　図書等

（１）修理報告書

本仕様書５－（２）・（３）を合わせ修理報告書（検査成績表）とし、２部を本役務終了後速やかに官側に提出する。（Ａ４版左綴）

（２）写　真

本仕様書に定める検査、計測及び修理の状況写真又は画像資料１部を本役務終了後、速やかに官側に提出する。

写　　真：Ｌ版/ファイルＡ４版左綴りとする。

画像資料：Ａ４版用紙に写真Ｌ版と同等の大きさを貼りつけるものとする。

（３）入渠記録一式

入渠記録は官側が用意する。

6　その他

（１）本役務における、開始及び終了の時期を契約担当官等と協議の上調整するものとし、契約相手方は行程表を作成し官側に提出するものとする。

（２）本仕様書に疑義が生じた場合又は、本仕様書に定める役務を行っても本来の機能が復旧しなかった場合、契約相手方は不具合対策表（様式任意）を作成して契約担当官等と協議するものとする。

別紙

機動船１３号定期検査・修理要領書

I　船体部

表１に示す部品を用意し、以下の検査・修理の際に交換する。別途、交換を要する部品が発生した場合は官側に報告するものとする。

表１

項目	品名	番号等	数量	官給
1(2)ア	補修用パテ		1 kg	
1(2)ウ	船底塗料	シーグランプリＦＲＰ（４kg缶）	4 缶	○
1(2)エ	ペラクリン		1 式	
1(3)	保護亜鉛	φ25	2 個	○
1(9)	マガジン	膨張式救命浮器用	4 個	
	ボンベ	膨張式救命浮器用	4 本	
	ウィークリンク	膨張式救命浮器用	2 個	
2(1)ア	ハイロックペイント　（青色）	DX807　（4.5 kgセット）	4 セット	○
	ハイロック　シンナー　（16ℓ）	希釈用	1 缶	○
	塗料ユニマリン白色	1036　（4 kgセット）	1 セット	○
2(1)イ	塗料ユニマリン白色	1031　（4 kgセット）	4 セット	○
	ウレタン　シンナー　A	希釈用　（4ℓ缶）	4 缶	○
	塗料インターデッキ	グレー　（0.75ℓ缶）	3 缶	
2(1)ウ	DK　ポリエステルカラー　S33-214	DK-308APHV	1 缶	
2(2)	スプリング	LEWMAR 126017	16 個	
2(4)	メインハリヤード	ダイニーマロープ　（10 mm橙）	31m	○
	ジブハリヤード	ダイニーマロープ　（10 mm青）	31m	○
	クリュウアウトホール	テトロンロープ 16 打　（8 mm）	5m	○
	ステンレス　ワイヤー	7×19　SUS304　（3mm）	4m	
	スピン　ハリヤード	テトロンロープ 16 打　（10 mm）	30m	○
	スピン　リフト	テトロンロープ 16 打　（8 mm）	20m	○
	メインシート	テトロンロープ 16 打　（10 mm）	19m	○
	ジブシート	テトロンロープ 16 打　（10 mm）	26m	○
	スピンシート	テトロンロープ 16 打　（10 mm）	32m	○
	スピンフォアーガイ	テトロンロープ 16 打　（8 mm）	12m	○
	ブームトッピングリフト	テトロンロープ 16 打　（6 mm）	27m	○
	ブームバング	テトロンロープ 16 打　（8 mm）	8m	○
	メインシートトラベラー	テトロンロープ 16 打　（6 mm）	9m	○
	リーフロープ	テトロンロープ 16 打　（8 mm）	30m	○
2(5)アイ	サンドペーパー類		1 式	
2(5)ア	ウレタン No.200(G)クリアーW21F	関西ペイント 19-329-645	4 kg	

項目	品名	番号等	数量	官給
2(5)ア	硬化剤　F	関西ペイント 19-329-649	2 kg	
	セーフティ型ウレボンフラットワングレードUP	大谷塗料　A液	4ℓ	
	セーフティ型ウレボンフラットワングレードUP	大谷塗料　B液	1ℓ	
2(6)ア	ウィンデックス	風見	1個	○
2(6)イ	レーダーリフレクタ	S-2型	1個	
2(6)ウ	セイルスライド	PNP　302	1個	
	セイルスライド	PNP　140	13個	
	PL　シャックル		14個	
2(6)エ	メインセール	(2ポイントリーフ付)	1式	
2(6)オ	スピンネーカー	(収納袋付)	1式	
2(7)	ステンレス　ワイヤー	1×19　SUS304　(5mm)	17m	○
	ステンレス　ワイヤー	1×19　SUS304　(4mm)	16m	○
	フォークターミナル	5 mm	2個	
	フォークターミナル	4 mm	2個	
	ショートスェージスタット	5 mm	2個	
	ショートスェージスタット	4 mm	2個	
	スエージング　(加工)	5 mm	4本	
	スエージング　(加工)	4 mm	4本	
	ワイヤー　ビニールコーティング	1×19　SUS304　(4mm)	14m	○
	アウトホール用ステンレス　ワイヤー	SAS304　(3mm)	4m	
	アウトホール用　スリーブ		2本	
	スターンライフラインワイヤー	4 mm　ビニール付	1.5m	
	カラビナ		2個	
	シャックル		2個	
	テトロンロープ	4 mm	1式	
2(8)	アクリル板　(前部用)	13t×550×550	1枚	
	アクリル板　(中部用)	10t×350×550	1枚	
	シーカフレックス	SF-295iUV	1式	
2(9)	貫通ボルト		44セット	
	ボルトキャップ		1箱	
2(10)	沿海セット	信号紅炎等	1セット	

1　検査修理

(1) 上下架及び滞架修理

ア　上下架

船体を安全に上架させ、修理終了後、下架させる。細部要目はかきのとおり。

形　　式：PIONIER 9　(NEW　STERN)
主要寸法：長さ 9.52m/幅 3.1m/深さ 1.35m/喫水 1.7m/排水量 3 t
滞架期間：中 10 日
上下架数：1 回
船　　質：ガラス繊維強化プラスチック (FRP)

イ　船底外板及び内部清掃

（ア）塗別線以下の船底外板全面（推進器、推進軸、同軸受、舵板及びバラストキールを含む。）２８㎡のスクレープ真水洗いを行う。

（イ）船外格子（シーチェスト）を取外し、内部清掃及び塗装実施後復旧する。

（ウ）船底内部のビルジ（ゴミ等）清掃を完全に実施し、目視検査を行い、異常の有無を確認する。

ウ　盤木移設

適宜の時期に盤木を移設し、清掃、研磨及び塗装を行う。

（２）船底塗装

ア　喫水線下の船底外板全面（２８㎡）の損傷箇所のパテ詰めを実施し、塗装前処理を行う。

イ　塗装前に官側立会いのもと船底の確認を行う。

ウ　塗料の種類、塗装面積及び塗装回数等は表２のとおりとする。

表２

塗　料　の　種　類	面積（㎡）	回数(回)	延べ面積（㎡）	官給量（ｋｇ）
船底塗料	２８	２	５６	１６

エ　プロペラ、推進軸及びシャフトブラケットにペラクリンを塗布する。塗布に当たってはペラクリンの使用上、必要な処置を塗布面に施す。

（３）保護亜鉛

表３に示す保護亜鉛を交換する。

表３

形　　　式	寸法（㎜）	取付位置	数量（個）
ＺＩＮＫ	φ２５	推　進　軸	２

（４）舵及び舵軸

ア　舵及び舵軸を抜き出し、清掃手入れ実施後、復旧する。

イ　目視検査により、舵、舵軸、舵軸管の各部について、腐食摩耗の状況及び損傷の有無を官側立会いのもと検査する。

ウ　舵軸関係の隙間計測を行う。

（５）船底調査

入渠記録に示す事項について調査し、入渠記録を２部提出する。また、入渠記録用紙は官側が準備する。

（６）船殻、リギン類等

次の各部を外観検査し、異常の有無を確認する。

ア　船底及び船側内舷

イ　船底内部及び接合部

ウ　バラストキールの締付状況

エ　張出軸受取付ボルトナット

オ　主隔壁及び内部床受座部
カ　甲板及び外板
キ　機関受台等
ク　構造物ガンネル部内側材
ケ　ＦＲＰ全般にわたる層間剥離現象
コ　スタンデングリギン類
サ　ランニングリギン類
シ　マスト電食状況（マストを倒立する。）及び外観
ス　各セール

（７）諸計器

次の諸計器の外観検査及びテスター測定を行い、作動状況及び示度を検査する。

ア　風向風速計
イ　スピードメーター
エ　ＧＰＳ

（８）諸管、諸弁装置

ア　ビルジポンプを取外し、清掃手入れを行い、腐食及び損傷の有無を検査する。復旧後作動確認を行う。

イ　便器、付属諸管、給水弁及び排水弁の清掃を行い、作動の確認を行う。

（９）膨張式救命浮器

膨張式救命浮器（ＴＲＦ－６型）２組の整備点検を行う。

２　一般修理

（１）塗装

ア　外　舷

（ア）外舷全面（１６．４㎡）の損傷箇所のパテ詰めを実施した後、塗装前処理を行い官側立会いのもと確認を行う。

（イ）塗料ポリウレタン青色（８０７）を２回吹付け塗装する。塗装完了後、バフ及びワックス掛けにより鏡面仕上げを行う。

（ウ）塗別線帯は現位置とし、塗料ユニマリン白色（１０３６）を２回吹付け塗装する。

イ　上甲板、ドックハウス及びコックピット周辺

（ア）全面（１６．４㎡）に塗装前処理を行う。

（イ）塗料ユニマリン白色（１０３１）を２回吹付け塗装する。

（ウ）上甲板滑り止め部（６㎡）に塗料インターデッキ（グレー）を２回塗装する。

ウ　機関台周辺

機関台周辺（２㎡）を清掃後、塗料ＤＫポリエステルカラー（Ｓ３３－２１４）を塗装する。

（２）ウインチ

ア　ウインチ４組を取外し、分解後、清掃手入れ及び注油を行い復旧する。

イ　スプリング１６個を交換する。

（３）パルピット及びスタンション

バウパルピット、スタンパルピット各１組及びスタンション６本を研磨剤（コンパウンド）を使用し研磨する。

（4）シート及びワイヤー

表４に示すシート及びワイヤーを交換する。

表４

名　　称	シート 材料：径×長さ	ワイヤー 材質：径×長さ	数量 (本)
メインハリヤード　（橙）	ﾀﾞｲﾆｰﾏ　10mm×31m×1		
ジブハリヤード　（青）	ﾀﾞｲﾆｰﾏ　10mm×31m×1		
クリューアウトホール	ﾃﾄﾛﾝ 16 打 8mm×5m×1	SUS304 3mm×4m	1
スピンハリヤード	ﾃﾄﾛﾝ 16 打 10mm×30m×1		
スピンリフト	ﾃﾄﾛﾝ 16 打 8mm×20m×1		
メインシート	ﾃﾄﾛﾝ 16 打 10mm×19m×1		
ジブシート	ﾃﾄﾛﾝ 16 打 10mm×13m×2		
スピンシート	ﾃﾄﾛﾝ 16 打 10mm×16m×2		
スピンフォアーガイ	ﾃﾄﾛﾝ 16 打 8mm×12m×1		
ブームトッピングリフト	ﾃﾄﾛﾝ 16 打 6mm×27m×1		
ブームバング	ﾃﾄﾛﾝ 16 打 8mm×8m×1		
メインシートトラベラー	ﾃﾄﾛﾝ 16 打 6mm×9m×1		
リーフロープ	ﾃﾄﾛﾝ 16 打 8mm×15m×2		

（5）木部の塗装

ア　表５に示す木部の塗料を完全に剥離し、サンドペーパー等を使用して表面を滑らかに仕上げ、各部にニスを塗装する。室内床面を２回、他の箇所は４回塗りとする。

表５

名　　称	面積（㎡）	数　量
舵　柄	０．０４	１　本
グラブレール	０．１６	２　本
キャビン入口内外	０．３５	１　対
室内・海図台等	０．４５	１　台
室内床面	５．００	１　式
寝室ベッド敷板	３．００	１　式

イ　表６に示す木部を、サンドペーパー等使用し表面を滑らかに仕上げる。

表６

名　　　　称	面積（㎡）	数　　量
オーナーズチェアー	１．０	２　　個
露天部　後部デッキ	２．５	一　　式

（６）メインマスト装具

ア　ウィンデックスを交換する。

イ　レーダーリフレクタを交換する。

ウ　セイルスライド及びＰＬシャックル（各14個）を交換する。

エ　メインセール（パイオニア９　ダクロン製２ポイントリーフ付）を現状の物と同等の物かそれ以上の物を作成し交換する。

オ　スピンネーカー（パイオニア９　トライラジアル 0.9oz）及び収納袋現状の物と同等かそれ以上の物を作成し交換する。

（７）ライフライン類

ア　ライフラインワイヤー（両舷上下）及びデッキライフラインワイヤー（両舷）を接続用部品と交換する。ワイヤーは上段５㎜、下段４㎜及びデッキにワイヤービニールコーティング４㎜を使用する。

イ　船尾のライフラインを交換する。

ウ　ライフラインワイヤーネットロープ（両舷）を交換する。

（８）スカイライトハッチ

船首及び中部のスカイライトハッチのアクリル部を交換し防水処置を施す。作業完了後、官側立会のもと散水試験を行う。

（９）キャビン左右アクリル窓

キャビン左右アクリル窓に固定用貫通ボルト（２２本×２組）を使用し補強を行う。補強後防水処置を施し、貫通ボルト先端にボルトキャップを取り付ける。修理完了後、官側立会いのもと散水試験を行う。

（１０）法定備品

沿海セット（信号紅炎等）を交換する。旧品は処分する。

３　完成検査

各作業及び機器の搭載復旧後、船内において官側立会のもと復旧確認及び作動確認を行う。

４　修理報告書

次の成績書等を２部と写真等１部を修理終了後、速やかに官側に提出する。

（１）検査成績書

（２）写真又は画像資料

撮影箇所

ア　上架時　船底　前後左右　各１枚

イ　塗装前　船底　前後左右　各１枚
上部構造物　左右　各１枚
上甲板　前後部　各１枚
機関台周辺　１枚

ウ　塗装後　船底　前後左右　各１枚
上部構造物　左右　各１枚
上甲板　前後部　各１枚
機関台周辺　１枚

エ　各項の分解時又は開放検査実施時と完了後の必要枚数

上記撮影箇所のほか、検査及び一般修理において官側に報告が必要な箇所については適宜撮影を行う。

Ⅱ　機関部

表７に示す部品を用意し、以下の検査・修理の際に交換する。別途、交換を要する部品が発生した場合は官側に報告するものとする。

表７

項目	品名	番号等	数量	官給
1(1)	推進軸シール材	VOLVO　828254	１式	
2	パッキン　セット	728271-92605	１ｾｯﾄ	○
2	ピストンリング　セット	721575-22500	２ｾｯﾄ	
2	オイル　フィルター	119305-35151	１個	○
2	FO　フィルター	104500-55710	１個	○
2	Ｖベルト　　（冷却水ポンプ用）	104511-78780	１本	○
2	エレメント　（吸気用）	128270-12540	１個	○
2	排気ガスケット	128170-13201	１個	
2	バルブステムシール	124950-11340	４個	
2	パッキン　　（アンチチャンバー）	124950-11450	４枚	
2	プロテクタ　（チャンバー）	128275-11490	２個	
2	カバー　　（プロテクタ）	128275-11500	２個	
2	Ｏ　リング　　1AS 26.0	24341-000260	２個	
2	オイルシール　　TC 25408	121450-01801	１個	
2	オイルシール　　SC 16286	128270-01820	１個	
2	オイルシール	124085-02220	１個	
2	オイルシール　（冷却水ポンプ）	104211-42100	１個	
2	メタルドゥ　Ｏリング	105225-02020	１個	
2	ミキシングエルボ	128170-13530	１個	
2	シム　　COMP	124950-01951	１個	
2(8)	海水ポンプインペラ	104211-42071	１個	○
2(11)	Ｖベルト　　（ジェネレーター）	128670-77350	１本	○
2(11)	防振マウント	128377-08341	２個	
2(11)	防振マウント	128377-08351	２個	
3	キングストンコック	43662-010031	１個	

１　検査修理

（１）軸系及び推進器（１軸）

陸揚げし、軸管装置の開放検査、分解手入れ、検査及び計測を実施後、シール材を交換し復旧する。

ア　軸系

（ア）推進軸を抜出し、外観検査、曲り計測及びジャーナル部の軸径を計測後、組立復旧する。

（イ）張出し軸受の状態を隙間検査及び摩耗状況を測定する。

イ　推進器

（ア）推進器を取外し、清掃手入れ、ピッチ計測実施後、組立復旧する。

（イ）静的釣合試験を行う。

2　主機（ヤンマー２ＧＭ２０形、２気筒）１式

主機本体及び付属装置を取外し、陸揚げ、総分解後開放検査を行う。清掃手入れのうえ、検査、計測及び組立調整を実施後、搭載復旧する。

また、軸連結カップリング部と軸心を整合調整する。

なお、組立、復旧の際、交換部品（パッキン、ガスケット等）は、交換する。

各項の総分解後の検査、各染色探傷検査及び燃料噴射弁の噴射状態の検査を官側立会いのもと実施する。

（１）シリンダー蓋及び同付属諸弁

ア　各部の損傷及び爆発面の歪み計測、損傷及び亀裂等の有無を検査する。

イ　染色探傷検査を行う。

ウ　冷却水ジャケット部の洗浄を行う。

エ　吸排気弁及び同バネの外観検査を実施する。弁については摺合せ調整を行う。

オ　吸排気弁と同案内との隙間測定を行う。

カ　燃料噴射弁は噴射圧力１７０kg/㎠に調整し噴射状態を検査する。

（２）ピストン及び連接棒

ア　ピストン

（ア）外観検査及び頭部並びにリング溝等の染色探傷検査を行う。

（イ）次の計測を行う。

ａ　ピストンの外径

ｂ　リング溝とリングとの隙間

ｃ　ピストンピン、ブッシュの内径

ｄ　ピストンピンの外径

イ　連接棒

（ア）外観検査を行う。

（イ）クランクピン軸受の外観検査及び内径の計測を行う。

（ウ）クランクピン軸受締付ボルト、ナットの外観検査を行う。

（３）シリンダー

ア　外観検査を行う。

イ　内径計測を行い、ピストンとの隙間及び摩耗の状況を調査する。

（４）クランク軸及び主軸受

ア　クランク軸

（ア）外観検査及び染色探傷検査を行う。

（イ）クランク軸の振れを計測する。

（ウ）各ジャーナル外径を計測し、摩耗の程度を調査する。

イ　主軸受

（ア）主軸受の外観検査、内径及び隙間を計測する。

（イ）主軸受締付ボルト及びナットの外観検査を行う。

（５）動弁装置及び伝導歯車装置

ア　カム軸及び同軸受

（ア）カム軸及びカムの損傷状況を調査し、軸受の隙間を計測する。

（イ）カム軸の振れを計測する。

イ　動弁装置

（ア）外観検査を行う。

（イ）動弁腕軸等の隙間計測を行う。

ウ　伝導歯車装置

（ア）取外す前に各歯車間のバックラッシュを計測する。

（イ）歯車及び付属部品の外観検査を行う。

（ウ）各軸受について、外観検査及び隙間計測を行う。

（6）架構及びオイルパン

外観検査を行う。

（7）吸排気集合管及び排気管

ア　外観検査を行う。

イ　排気管のラッキング補修を行う。

（8）ポンプ類

ア　海水ポンプ

（ア）外観検査を行う。

（イ）インペラを交換する。

イ　潤滑油ポンプ

（ア）外観検査を行う。

（イ）ポンプローター及びケーシングとの隙間を計測する。

（ウ）圧力調整弁の摺合せ及び調整を行う。

ウ　燃料噴射ポンプ

（ア）外観検査を行う。

（イ）燃料噴射状態を点検し、圧力調整を行う。

（ウ）燃料噴射時期の点検及び調整を行う。

（9）調速機

各部の損傷、摩耗状態を検査し、作動を確認する。

(10) 逆転減速装置

ア　逆転機

（ア）損傷、摩擦の有無及び程度を検査する。

（イ）各歯車及び歯車軸受の異常の有無を検査する。

（ウ）オイルシール当り面の摩耗状態を検査する。

（エ）操縦機構の各機器の外観検査及び摩耗度計測を行う。

イ　減速機

（ア）損傷、摩擦の有無及び程度を検査する。

（イ）各歯車及び歯車軸受の異常の有無を検査する。

（ウ）オイルシール当り面の摩耗状態を検査する。

（エ）操縦機構の各機器の外観検査及び摩耗度計測を行う。

(11) その他

ア　吸排気システムダイアフラム仕組の検査を行う。

イ　ジェネレーターＶベルトの交換行う。

ウ　防振マウントの交換を行う。

3　船底弁（主機冷却用１個）
（1）接続パイプ等の清掃手入れ及び外観検査を行う。
（2）キングストンコックを交換する。

4　運　転
（1）係留運転
　係留運転を実施し、修理関連箇所の調整を実施し、官側立会いのもと異常の有無を確認する。
（2）海上運転
ア　海上運転を実施し、修理関連箇所の調整及び計測を実施し、官側立会いのもと異常の有無を確認する。
イ「海上運転実施方案」を事前に官側に提出し、承認を得るものとする。

5　完成検査
各作業及び機器の搭載復旧後、船内において官側立会いのもと復旧確認及び作動確認を行う。

6　修理報告書
次の成績書等２部と写真等１部を修理終了後、速やかに官側に提出する。
（1）検査成績書
（2）海上運転成績書
（3）写真又は画像資料
　撮影箇所
ア　総分解前
イ　総分解後
ウ　カラーチェック時
エ　組立前
オ　各検査実施時
上記撮影箇所のほか、検査及び一般修理において官側に報告が必要な箇所について適宜撮影を行う。

Ⅲ　電気部

表８に示す部品を用意し、以下の検査・修理の際に交換する。別途、交換を要する部品が発生した場合は官側に報告するものとする。

表８

項目	品名	番号等	数量	官給
1(2)ア	マストトップ３色灯	MLC-4AB2	1	
1(2)イ	第二種両色灯　（バウライト）	NLSW-2B	1	

１　検査修理

（１）配電盤及び計器盤の外観検査、絶縁測定検査、清掃手入れ及び各部の増し締めを行い異常のないことを確認する。

（２）下記の機器を交換する。

ア　マストトップ三色灯を交換する。

イ　バウ両色灯を、第二種両色灯に交換する。

（３）下記の機器を陸揚げ後、開放検査を実施し、終了後清掃手入れ、補修（塗装等）及び絶縁抵抗検査を行い、異常のないことを確認し復旧する。

ア　停泊灯

イ　スプレッターライト

ウ　コンパスライト

エ　キャビンライト

オ　チャートライト

（４）下記の機器を陸揚げ後、開放検査を実施し、終了後清掃手入れ、絶縁抵抗検査及び作動確認を行い異常のないことを確認し復旧する。

ア　起動電動機

イ　充電用発電機

ウ　警報盤　（機動スイッチ組込）

エ　陸上給電装置

２　完成検査

各作業及び機器の搭載復旧後、船内において官側立会いのもと復旧確認及び作動確認を行う。

３　修理報告書

次の成績書等を２部と写真等１部を修理終了後、速やかに官側に提出する。

（１）検査成績書

（２）写真又は画像資料

撮影箇所

ア　各機器外観検査時各１枚

イ　各機器開放検査時各１枚

ウ　各機器修理完了時各１枚

上記撮影箇所のほか、検査及び一般修理において官側に報告が必要な箇所について適宜撮影を行う。

官給材料明細表

工事番号	艦修　4
船　名	機動船13号定期検査・修理

供用官		担当官	

番号	部品番号	品名	番号等	数量	単位	用途
船体部						
1(2)ウ		船底塗料	シーグランプリFRP (4kg缶)	4	缶	
1(3)		保護亜鉛	φ25	2	個	
2(1)ア		ハイロックペイント (青色)	DX 807 (4.5kgセット)	4	セット	
		ハイロック シンナー(16ℓ)	希釈用	1	缶	
		塗料ユニマリン白色	1036 (4kg セット)	1	セット	
2(1)イ		塗料ユニマリン白色	1031 (4kg セット)	4	セット	
		ウレタン シンナー A	希釈用 (4ℓ缶)	4	缶	
2(4)		メインハリヤード	ダイニーマロープ(10mm橙)	31	m	
		ジブハリヤード	ダイニーマロープ(10mm青)	31	m	
		クリュウアウトホール	テトロンロープ16打 (8mm)	5	m	
		スピンハリヤード	テトロンロープ16打 (10mm)	30	m	
		スピンリフト	テトロンロープ16打 (8mm)	20	m	
		メインシート	テトロンロープ16打 (10mm)	19	m	
		ジブシート	テトロンロープ16打 (10mm)	26	m	
		スピンシート	テトロンロープ16打 (10mm)	32	m	
		スピンフォーアーガイ	テトロンロープ16打 (8mm)	12	m	
		ブームトッピングリフト	テトロンロープ16打 (6mm)	27	m	
		ブームバング	テトロンロープ16打 (8mm)	8	m	
		メインシートトラベラー	テトロンロープ16打 (6mm)	9	m	
		リーフロープ	テトロンロープ16打 (8mm)	30	m	
2(6)ア		ウィンデックス	風見	1	個	
2(7)		ステンレス ワイヤー	1×19 SUS304 (5mm)	17	m	
	小計					

防衛大学校

官給材料明細表

工事番号	艦修　4
船　名	機動船13号定期検査・修理

供用官		担当官	

番号	部品番号	品名	番号等	数量	単位	用途
船体部						
2(7)		ステンレス ワイヤー	1×19　SUS304　(4mm)	16	m	
		ワイヤー ビニールコーティング	1×19　SUS304　(4mm)	14	m	
機関部						
2	728271-92605	パッキンセット		1	組	
	119305-35151	オイルフィルター		1	個	
	104500-55710	FO フィルター		1	個	
	104511-78780	Vベルト　(冷却水ポンプ用)		1	本	
	128270-12540	エレメント　(吸気用)		1	個	
2(8)	104211-42071	海水ポンプインペラ		1	個	
2(11)	128670-77350	Vベルト (ジェネレーター)		1	本	
	小計					0
	合　計					0

防衛大学校